

2013年の幕開けは、衛都連合唱団のさわやかな歌声で



# 住民の中に飛びこみ 結びつく共同を 広げよう!



人間らしく生きたい! まともな雇用と賃上げを 淀屋橋で街頭宣伝(1月8日)



思想調査裁判勝利へ共感と支援の輪を広げよう(8面に関連記事)

今年は、国民が引き続き政治のあり方を探求する激動の年。9月の堺市長選挙をはじめとした首長選挙、7月には参議院選挙が行われます。

大原真委員長は、1月5日の大阪自治労連旗開きで「昨年の衆議院選挙では、病院の統廃合やバス路線廃止反対運動を住民と一緒に進めた地域では、維新の会への支持が大幅に下がっている」ことを具体的に指摘し、「自治体労働者が住民の中に大胆に飛びこみ、幅広い人たちと交流し、結びつくことが重要」と強調しました。

「労働組合の役割を探求し、行動する国民との具体的共同をすすめ、憲法がいける地域と自治体をつくろう」(13年大阪自治労連大会スローガン) を実践する1年にしましょう。

大阪市思想調査アンケート裁判に

# 支援の輪を! 燃えています!



大阪市労組、劇団「きゅう」の仲間と思想調査裁判の応援歌「スタンダップ」を熱唱



大阪市思想調査裁判原告・コント「スタンダップ」

川崎 洋子さん

(大阪市労組福祉保育支部・保育士)

大阪自治労連の旗開きで、大阪市思想調査アンケート裁判を題材に笑いと涙をさく裂させたコント「スタンダップ」。出演した川崎洋子さんに、演じるおもしろさと裁判勝利にかける思いを聞きました。

芝居って楽しいー  
仲間と劇団立ち上げ

演劇活動に出会ったのは、大阪市に就職した年に、職場の先輩に劇団「きづがわ」に連れて行ってもらったことです。ちょうど「若者たち」の稽古中で、役者が2人足りないため、一言だけのせりふで初舞台に立ちました。

46歳の時に関西芸術座46期研

上げました。

仕事も芝居も

「創る」ことは同じ

究生になり、1年間勉強しました。卒業公演で若い人たちと芝居ができて、やっと「ああ、芝居ってこんなに楽しいんやな」と思うことができました。それから、「きづがわ」で「スタンダップ」の相棒と二人芝居「父と暮せば」を演じ、西区で芝居をする仲間と「9条の会・西区」を母体にした「劇団きゅう」を2009年に立ち

今ようやく、仕事と劇団活動を両立してきた意味がわかりかけています。芝居を創ることは、創造活動をフルに発揮して、組立から最後の仕上げまでを自分の中で消化していかねればなりません。これは仕事に非常に役立っており、自分の中でも保育の1年間の見通しが持ちやすくなり、仕事に自信が持てるようになりました。大きな発見です!

思想調査裁判を芝居に  
勝利へ燃えています

今年「劇団きゅう」の設立5年目です。大阪市思想調査アンケート裁判の原告になったこともあり、これを芝居にした「母さん頑張るからね!」(仮題)を6月22日に上演します。支援の輪を広げて勝利を勝ち取るために燃えています。市労組と共催で創りあげていきます。ぜひぜひ、力を貸して下さい!

大阪市労組・劇団「きゅう」共催  
「母さん頑張るからね!」(仮題)  
6月22日(土)  
14:30~ 19:00~ (2回公演)  
子ども文化センターホール  
(地下鉄西長堀駅から徒歩約5分)